



《感染症と予防接種》

感染症とは

細菌やウイルスなどの微生物が体内に入り体内で増加することにより発症する病気の事です。

予防接種とは

原因となる菌やウイルスが作り出す毒素の力を弱め予防接種液をつくり、これを体に接種してその病気に対する抵抗力(免疫)をつくる事をいいます。

今回は…

- ①H27年5月から新たに任意接種開始になった4価髄膜炎ワクチン
- ②追加接種が推奨されるようになったポリオワクチンのお知らせです

①【侵襲性髄膜炎菌感染症・4価髄膜炎ワクチン】

髄膜炎菌が髄液又は血液から検出された感染症のことをいいます。乳幼児だけでなく、学生寮などで共同生活を送っている10代の人達の間でも流行がみられ注意が必要です。

早期診断が難しく発症から24時間以内に死に至る事があります。

日本では15～19歳に発症のピークがみられますが、どの年代でも感染する可能性はあります。

ハイリスクグループとして、若年層で寮生活をする人、免疫の低下した人、脾臓を摘出した人、慢性中耳炎・鼻炎・副鼻腔炎の患者など。

②【ポリオ・ポリオワクチン】

ポリオウイルスが人の口の中に入り、腸の中で増えることで感染します。

乳幼児がかかることが多い病気です。

H24年9月から不活化ワクチンへ変更され、7歳5ヶ月までに4回の接種が必要になります。



H24年8月生まれ以降のお子様では4種混合ワクチンの中に組み入れられています。

H29年より4～6歳のお子様を対象に追加接種(任意・自費)を推奨されています。

最後に…

③現在特例で定期接種が可能になった日本脳炎ワクチンについてのお知らせです

③【日本脳炎・日本脳炎ワクチン】

夏場に日本脳炎ウイルスをもった豚を刺した蚊が人を刺すことで感染します。

H17年に旧型の日本脳炎ワクチン接種を控えた時期があり、H23年から定期接種4回のうち、不足分を特例で公費接種できる措置がとられています。

対象者はH7年6月1日生まれ～H19年4月1日生まれの方です。対象のお子様がおられる方は母子手帳の確認をしてみましょう。



* 感染拡大防止のためのお願い *

当院では待合室でインフルエンザのような感染力の強い病気の方と一緒に長くお待ちいただくことを避けています。

診察をする前にこれらの病気の疑いがあれば、個室に入ってお待ちいただいています。

しかしお部屋が満室の場合が多く、お車でお待ちいただく場合もあります。

ご協力のほど宜しくお願い致します。

